



中小企業向け目標設定アプリケーション

*必須

ターゲットの設定

ターゲットを設定する動機を教えてください（任意）

- お客様からの要望
- サプライヤーからの要望
- 出資者からの要望
- 政府のインセンティブや要求
- 気候変動対策のリーダーシップの発揮として
- その他: _____

ターゲットオプションの設定 *

中小企業向けルートを利用する企業は、ターゲットを検証するために、以下のような定義済みのターゲットオプションの中から1つを選択する必要があります。これらは、温度目標に対する目標を評価するためにイニシアチブが使用している直線的な年間削減率をきれいに表示しています。目標分類のためのしきい値の詳細については、論文「Foundations of Science-based Target Setting」をご参照ください。

選択

選択した基準年のスコープ1 排出量（2018,2019,2020）(tCO2e) *

この情報は、お客様のターゲットを検証するために必要なもので、ご了承ください。記入されていない場合や不完全な場合はターゲットの提出は自動的に拒否されます。

回答を入力

選択した基準年のスコープ2 排出量（2018,2019,2020）(tCO2e) *

この情報は、お客様のターゲットを検証するために必要なもので、ご了承ください。記入されていない場合や不完全な場合はターゲットの提出は自動的に拒否されます。

回答を入力

スコープ1の排出量を占める主要な事業および活動を説明してください。 *

この情報は、お客様のターゲットを検証するために必要なもので、ご了承ください。記入されていない場合や不完全な場合はターゲットの提出は自動的に拒否されます。

回答を入力

スコープ2の排出量を占める主要な事業および活動を説明してください。 *

この情報は、お客様のターゲットを検証するために必要なもので、ご了承ください。記入されていない場合や不完全な場合はターゲットの提出は自動的に拒否されます。

回答を入力

スコープ2の排出量の計算に用いられている方法 *

- マーケットベース
- ロケーションベース

GHG Protocol Corporate Standardおよびスコープ2ガイダンスに従って、GHG 排出量を推定・報告し、インベントリ再計算のガイドラインに従うことを確認します。*

- Yes
- No

スコープ1と2を合わせた排出量の5%以上をGHGインベントリから除外しないことを確認する。*

C2- Significance thresholdsにしたがって、企業は、ターゲットとインベントリの境界において、スコープ1とスコープ2の排出量を合わせて最大5%まで除外することができる。

- Yes
- No

目標達成のために、オフセットや削減貢献量を利用しないことを確認する。*

C12-オフセットに準拠して、オフセットの使用は、企業の科学的根拠に基づく目標の進捗に対する排出削減量としてカウントしてはならない。SBTIでは、企業は、自社の事業およびまたは自社のバリューチェーンにおける直接的な行動による排出削減に基づいて目標を設定することが求められている。オフセットは、科学的根拠に基づく目標を超える追加的な排出削減を望む企業のためのオプションとして位置付けています。

- Yes
- No

スコープ3の排出量を測定し、削減することを確認する。*

- Yes
- No

自社の排出量と目標に対する進捗状況を毎年公表することを確認する。*

C22-Frequencyに準拠して、会社は、GHG排出量のインベントリと、公表された目標に対する進捗状況を、毎年、公的に報告する。

- Yes
- No

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは WWF 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム